

# 品目：さつまいも

環境こだわり農産物の基準(5割以下の基準)

化学合成農薬(延べ使用成分数) 2成分以下

化学肥料(窒素分量) 3kg/10a以内

## 技術体系例 さつまいも

生育ステージ 防除時期	作付前		植付前		生育期間中		
	作付体系	作付前	植付前		全般	生育中期	生育後期
防除方法 ・ 使用資材 ・ 薬剤名等	ほ場ローテーション	殺虫剤	(苗購入)	病気に強い品種の利用	捕殺	殺虫剤	B T 剤
黒斑病			●				
つる割病	★		●	★			
ネコブセンチュウ	★						
コガネムシ類幼虫		●					
イモコガ						●	
ナカジロシタバ					★	●	
エビガラスズメ					★		
ハスモンヨトウ					★	●	★
(例)使用農薬		ダイアジノン粒剤5	(ベンレート水和剤)			ラービンプロアブル	ゼンターリ顆粒水和剤
化学合成農薬成分数		1	(1)			1	

注) ●: 薬剤防除対象病虫害、★: 天然資材または耕種的手法

農薬の登録は随時変更があるので、農薬の使用にあたっては、必ず農薬ラベルを確認し適正に使用する。

\* 印のものは、登録の対象害虫等が限られているので登録を確認する。

ほ場周辺は除草剤を使用せず、草刈機による管理またはグランドカバープランツを植栽する。

病気 **つる割れ病**

(つるわれびょう)

発生しやすい時期

6月頃～9月中旬頃

原因（発生要因）

- ・ 土にいるカビにより発生します。



つる割れ症状



つる割れ病に侵された茎といも

対策（減農薬技術）

- ・ 抵抗性品種を利用します。
- ・ 苗はできるだけ購入します。
- ・ 家で苗をとる場合は病気にかかっていない種いもを使い、種いもから3 cm以上のところを切り離します。
- ・ 発病した畑では連作しないようにします。

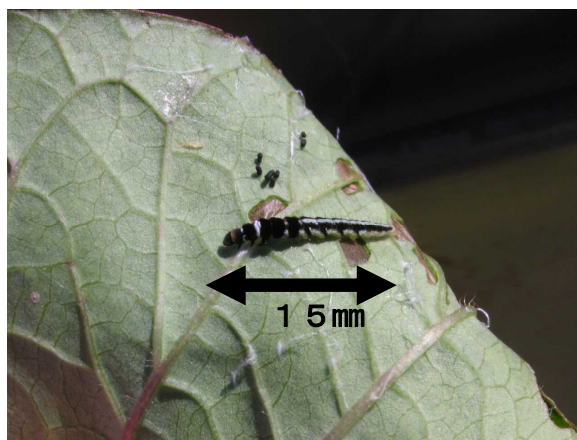
害虫 **イモコガ** (別名イモキバガ)

発生しやすい時期

5月頃、9月頃

原因 (発生要因)

- ・親は小さい褐色の蛾で、夜に活動し、葉の裏や表に卵を産みつけます。
- ・葉を巻いて内側から葉を食べます。



イモコガの幼虫

対策 (減農薬技術)

- ・ 苗床や畑で、被害が無いかを確認します。
- ・ 9～10月にはハスモンヨトウなどと同時に防除することで散布回数を減らすことができます。
- ・ 葉の内側に虫がいるので、農薬がかかるよう、しっかりやります。

害虫 **ハスモンヨトウ** ブロッコリーの項参照

害虫 **ネキリムシ類** キャベツの項参照